

事例の区分

事業区分	公園整備事業
配慮概要	現況地形や自然環境を生かした施設配置を計画

事業の概要

事業名	奥卯辰山健民公園整備事業
実施場所	金沢市若松町地内
事業主体	石川県（担当課：公園緑地課）
実施期間	平成15年度～平成20年度
全体事業費	約360,000千円
事業規模等	奥卯辰山健民公園拡張区域（17.2 ha）
事業概要	若松町地内の奥卯辰山健民公園拡張区域において、現地形や自然環境特性を生かした施設配置計画をおこない、地域の原風景を再現する。

環境配慮の内容

- ・奥卯辰山健民公園拡張区域は、古くは谷津の地形を利用して作られた水田であった。水田の両側の斜面は、落葉広葉樹の林を形成しており、金沢市内で失われつつある里山の風景を多く残した地域である。
- ・計画では、この里山の風景の保全を鍵とし、現地形を利用した水田の復活や、斜面からの湧水を利用した自然観察園の整備などを行うこととしている。
- ・保全が必要となる動植物の有無に関する調査を実施のうえ、地域住民の意見を反映させ公園利用者が地域の自然と手軽にふれあえる環境を整える。

環境配慮の結果

- ・現在整備中。

今後の留意事項等

- ・自然観察園や水田などは、完成後の管理運営体制が重要である。これまでの画一的な管理手法では維持できないこと、業者への管理委託では費用が膨大になることなどが予想され、住民参画・協働など管理の新しい仕組みづくりが必要である。また、計画地の休耕田は、放置されてから既に長い時間が経過しているため、遷移が進み自然の動植物の生育環境が形成されつつある。これらをどのように公園整備に生かしていくかの検討が必要である。

[整備計画(案)]



自然観察園

広場

田んぼ

自然観察園

駐車場

